



ヨコハマ市民まち普請事業

第一次整備提案書

※ 記入上の注意

- ①3号様式はページを増やさず、必ず2ページ以内でまとめてください。
- ②3号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。
- ③位置図及び現況写真以外に、整備提案のイメージ図などの資料をA4判2ページまで添付することができます。その際、資料の両側に15mm以上余白を確保してください。

| | |
|--|--|
| 整備提案名 (25字以内) | 地域のインテリジェンス「ぷらっと ^{やとやべ} 谷矢部」づくり |
| 提案グループ名 (25字以内) | 谷矢部池公園愛護会 |
| グループの現在の主な活動内容及び最近5年以内の活動実績 | <ul style="list-style-type: none"> ・自然観察会 ・竹灯籠のタベ（平成23年度より毎年開催） ・生き物調査（専門家の協力を得て実施） ・井戸の水質検査 ・草刈り ・公園整備（近隣の樹林の会の協力を得て伐採作業） ・田植え ・樹林や竹林の端材を使用する工作教室 ・ツリークライミング |
| 整備場所の所在地 <small>(町名又は丁目まで記入)</small> | <p>横浜市戸塚区矢部町1996（谷矢部池公園内）</p> <p>※位置図及び現況写真（各A4判1ページ）を添付してください。</p> |
| 整備提案の内容 <small>（どのような整備を提案するのか文章で記入してください）</small> | <p>公園に集う全ての方々が憩い、交流できる場所にする為の拠点建築する。公園利用者の受付や予約を行う事務所機能と、写真・書物等を展示するギャラリー機能を持つスペース、イベント用具、運動用具、園内作業用具などを保管する倉庫スペースを整備する。建築に当たっては、資源循環型の公園管理を目指す事からあらゆる廃材などの可能性を検討し再利用し、建築したいと考える。</p> <p style="text-align: right;">整備費用の概算額：約 600万円</p> <p>※添付資料として整備提案のイメージ図を添付することができます。（記入上の注意③）</p> |
| 整備提案の動機や背景 <small>（整備に対する地域のニーズや整備によって解決したい地域の課題、整備の必要性などに触れながら箇条書きで記入してください）</small> | <ul style="list-style-type: none"> ・樹林部、池などの維持・管理は、日々自然と対話し都度活動を定める臨機応変な整備と、ボランティア各自が山守の主役であるという意識が必要。（平成11年に開園後、手入れが行き届かなくなり放置状態に。近年数名の方々が整備を行うも、拠点が無いことによる今後の継続性に不安） ・グラウンド利用者団体の利用時間及び利用範囲の調整が必要。 （現在9団体が利用しているが、拠点が無い為調整会議もできず、利用者管理規定もないため、今後この拠点を中心に管理機能を充実させたい） ・地域の方々の交流、公園施設活用情報の入手と発信の場が必要。 （地域の歴史を知る資料や、公園の生き物や風景の写真など、地域の方の手元にあるものを展示することで、広く地域の良さを知ってもらい、交流の場となればと考える） |

| | |
|---|---|
| <p>整備の効果 (整備したい施設がどのような人たちに利用され、地域にどのように貢献すると考えますか?)</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・この拠点に多くのボランティア団体が集まり、日常的に勉強会や情報交換会を行うことで、樹林部やせせらぎの維持や管理を協力して行うことができる。 ・グラウンド利用者が集まって会議をする場所ができ、より効率的なグラウンド利用ができる。また公園管理に関する情報共有と報告機能が充実する。 ・ギャラリーを作ることにより、地域の歴史や公園の四季等情報発信が出来、地域の人に知ってもらえることができる。子どもたちが、公園を「さとやま」として学習に使い、ふるさとを感じてもらえる場にしてゆきたい。 |
| <p>整備した施設の維持管理・運営 (整備した施設の維持管理や運営に、提案グループや地域住民等がどのようにかかわっていきますか?)</p> | <p>鍵の管理など基本的運営は、コアメンバーとボランティアメンバーによって行う。</p> <p>公園愛護会、わかぎの会、利用者団体等がコアメンバーの予定。公園愛護会は、地域5町内会と矢部小学校で、わかぎの会は矢部小学校PTAのOBで組織されている。ボランティアメンバーとして、公園を中心に鳥の写真を撮影している写悠会、近隣町内会が手をあげている。</p> <p>各々が可能な範囲で協力できる形を考え、気持ちよく公園の活動に係れることができる体制を作りたいと思う。</p> |
| <p>○提案内容におけるアイデアやユニークさ</p> <p>○提案を実現するために活用する地域の資源注4)</p> <p>○その他提案について特にPRしたい点</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・事務所やミーティングスペース、倉庫だけではなく、地域の歴史展示やギャラリー機能を持たせる。ここを拠点に資源循環型の公園管理を目指す。落ち葉は堆肥、小枝は路面チップ、幹は炭や薪、自然工作材料などに再生する。園内整備は自然生物との対話を重視し、大きな自然変更は行わない。 人 地域に設計、電気工事、左官の専門家がいる。 物 整備に必要な材料や機械を安く入手できそう。 金 バザーやイベントで集める。町内会などから協賛金等を得られる見込み。 *教育委員会が指定する地域コーディネーターを中心に地域の人とのつながりを広げており、さまざまな支援を受けられるよう日々努力している。 <p>樹林部、水源、せせらぎ、田、ため池など、この公園は単なる里山ではなく、生活に必要な全てを備えており、いわゆる小宇宙と言っても良いと思う、この状態をよりよい形で後世に残したい。</p> |

注4)「地域の資源」とは、次のようなものを想定しています。

- | | | |
|---------|-------------------------|-----------------------|
| ○「ヒト」の例 | ・地域のPTAから協力を受けられそう。 | ・地域に設計の専門家がいる。 |
| ○「モノ」の例 | ・整備に必要な材料を安く入手できそう。 | ・整備に必要な建設機械を安く借りられそう。 |
| ○「カネ」の例 | ・自治会町内会から資金的な支援を受けられそう。 | ・バザーなどで資金を集められそう。 |

| 整備場所の地権者等注5)への提案内容及びコンテストに応募することについての説明状況 | |
|---|-----------------------------|
| 説明の相手方 | 相手方の意見等 |
| 横浜市 戸塚土木事務所 | 応募することについて了解した。経過報告をお願いしたい。 |

注5) 土地・建物を所有している、借りている、又は実質的に使用権利を持つ者(会社や行政機関も含む)

記載内容について、次の内容を確認後チェックボックスに✓を入れてください。

記載内容は真実であり、虚偽はありません。

記載内容に個人情報はありません。

谷矢部池公園案内図



谷矢部池公園事務所建設予定地現況写真

平成 28 年 5 月 19 日

現況写真視通位置図

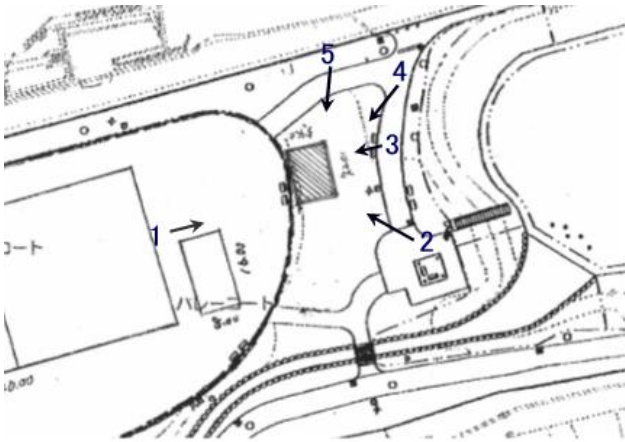


写真 1



写真 2



写真 3



写真 4



写真 5



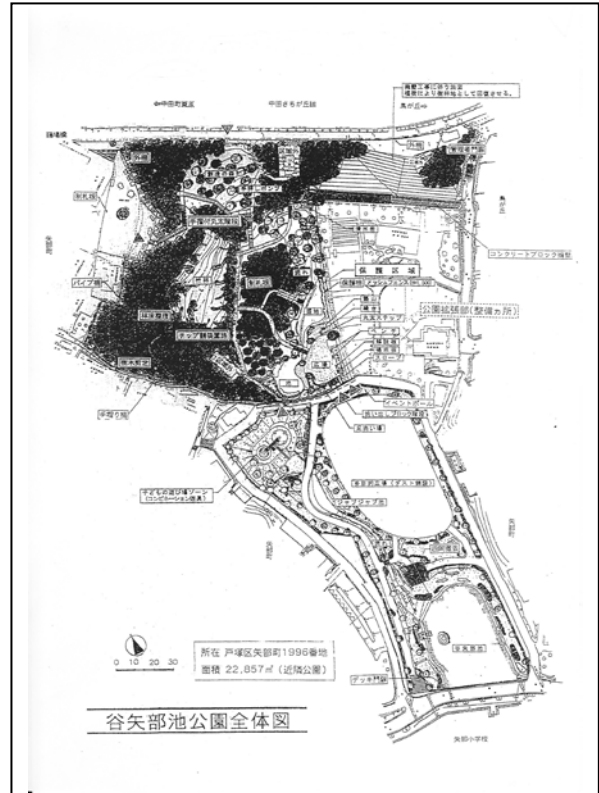
谷矢部池公園と谷矢部池公園愛護会の道のり

谷矢部池公園

谷矢部池公園は、戸塚区矢部町 1996 に位置する約 2.3ha の近隣公園です。農業用水池を含む多目的グラウンドと樹林地からなり、谷戸地形の空間を縦断方向に 3 分割する形になっています。

西側の源流部の樹林地エリア、中間部には遊具広場や多目的広場のある園地エリア、下流部にはかつてため池として利用されていた谷矢部池エリアで構成され、尾根線には市道中田さちが丘線がとおり、東側には市道を挟み矢部小学校が立地しています。

谷矢部池は、その入り口に立つ道祖神が延宝 2 年(1674 年)庚申塔が元禄 9 年(1697 年)建立とあり 342 年たっていることから、ほぼ 400 年を経過していると思えます。西側の樹林地エリアには鎌倉時代山奉行勤めた河原家の屋敷跡があり、そこから出土した鎌倉石は記念碑として保存され、地域の歴史に密着した農業用水池と共に、後世にその姿と歴史を語り継ぐ必要があります。



谷矢部池公園愛護会の道のり

- 平成 2 年 矢部小学校稲垣校長落合 PTA 会長時、子供たちと池を埋め立てに反対し公園化陳情
- 平成 5 年 12 月 池周辺とグラウンド部分の公園整備がされ開園
- 平成 6 年 市長の呼びかけで谷矢部池公園愛護会設立 (近隣 6 町内会)
- 平成 8 年 公園愛護会内に谷矢部池公園活用会議を設置、樹林地部の公園化を目指す。
樹林地の所有者の方々や関係役所などへの陳情
谷矢部池活用会議運動の結果 愛護会加盟自治会町内会は、13 町内会自治会となる
- 平成 8 年 9 月 第 1 回谷矢部池カイボリ実施、(横浜環境科学研究所の指導応援を得て)
児童書カイボリの内容を本にした“おれっぺいじめっ子”井上洋子著、発行
- 平成 11 年 3 月 第一次整備 樹林地を加え 現在の 2.3ha の公園となる
- 平成 11 年 5 月 矢部小学校の子供たちイベント、4 年生平家ほたるカワニナ放流、5 年生横浜黒めだか矢部ピュアーを放流、6 年生樹木札を付ける。
横浜黒めだか、ほたるの里親と放流に関して、13 年までイベントとして実施以降休止
- 平成 11 年 6 月 谷矢部池公園水源の森開園式
- 平成 11 年 7 月 第 2 回目谷矢部池カイボリ実施、(横浜環境科学研究所指導)
この時点では、池に入り子供たちが魚を網ですくうことが出来た。
- 平成 18 年 愛護会内に谷矢部池公園活用促進会議を設置 トイレの設置などを目指す、上矢部樹

林の会と提携樹林部の間伐を行う

愛護会参加団体は5町内会自治会と矢部小学校に縮小、公園利用者組織化する
横浜黒めだか、ほたるの里親制度と放流復活、平成22年に休止

平成19年1月 第2次改修 樹林部池が埋まってしまったため、現況復帰の浚渫し、完成式典実行。

子供たちの作文発表や、樹林地池に横浜黒めだか谷矢部ピュアー、ほたる放流

平成19年4月 森ボランティア登録

平成22年7月 第3回谷矢部池カイボリ実施、(戸塚土木事務所、環境創造局指導)

雨水処理水が一度池に流入した後市道下の雨水管に入るため、周辺地域の開発とあいまって土砂の流入が酷く水深は半分ほどになってしまう。カイボリしても沼地化し池には、入れない状況になってしまった。

平成23年6月 第1回竹灯籠の夕べ実施 復権里山の力 鎮魂の思いをこめて

平成24年6月 第2回竹灯籠の夕べ実施 ~揺らめく灯りに映る美しい地球、私たちの願い~

平成25年4月 第3次公園改修工事 歩道、トイレの設置、遊具変更など

平成25年6月 第3回竹灯籠の夕べ実施 子どもたちの故郷づくり

平成26年4月 第4次公園改修、樹林部せせらぎ及びお座敷デッキなど

平成26年6月 第4回竹灯籠の夕べ実施 故郷づくり~伝えたい、せせらぎのあるふるさと~

平成27年11月 第5回竹灯籠の夕べ実施 ふるさとづくり~人の輪、心の輪、集う場所~今後サブタイトルは
固定の予定

平成27年11月 横浜市公園愛護会団体表彰を受賞

平成28年 公園愛護会内に谷矢部池高度利用研究会(矢部小学校長、鳥が丘小学校長、公園愛護会、わかぎの会、連合町内会長など)を設置、自然との対話を重視する循環型公園と、グラウンドの効率的利用を目指し、管理事務所設置の為まち普請にエントリーする

谷矢部池公園事務所・ギャラリー簡易図

